

日誌

日誌 07月28日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|-------------|
| 出欠状況 | 出席 36.5 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 病院実習について |
| | | 調剤 |
| | 10:00 | 疑義照会 |
| | | 軟膏 |
| | 11:00 | 服薬指導 薬歴記載 |
| | | 調剤 |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 調剤 |
| | | |
| | 14:00 | 服薬指導フィードバック |
| | | |
| 15:00 | 到達度評価フィードバック | |
| | | |
| 16:00 | | |
| | 日誌作成 | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(2)名、その他(1)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

前回に引き続き疑義照会の内容は、出荷停止になっている薬が処方されていたため変更の疑義だった。前回と違った点は代替案を出したことだった。代替品を調べた際にメーカーが出していた代替品の参考があったのでそれを元に提案した。
軟膏調剤はロコイド軟膏50gとヘパリン類似物質油性クリーム50gだった。前回の反省を踏まえて今回は1回でOKしていただけた。だいぶ慣れてきたなと思った。服薬指導は基本的な薬は変わらない患者さんだった。2回ほどでていた軟膏が今回削除されていたのでその確認と、薬歴から眠剤を飲まなくても寝れていそうな雰囲気があったのでその確認をした。
飲まなくても寝れているということだったので減量や中止でもいいのではと思ったが、フィードバックで問題がない場合は減量や中止が難しいということを学んだ。また、本人に減量や中止の意思がなさそうなのでできないのだろうなと感じた。
午後は到達度評価のフィードバックをした。
つける際は事実と照らし合わせてこの項目のこの段階は行った、行っていないという基準でつけた。
自分が思っていたよりも高い評価をしていただけたのでびっくりした。

日誌

日誌 07月28日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月28日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---------------------|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 残りの期間で段階が上がるように意識する |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 07月29日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--------------|
| 出欠状況 | 出席 36.5 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 到達度評価フィードバック |
| | | 散剤 |
| | 10:00 | 散剤 |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 副作用報告制度 |
| | | 下痢止めの選び方 |
| | 14:00 | 服薬指導見学 |
| | | |
| | 15:00 | 会議 |
| | | |
| 16:00 | 服薬指導 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|---|
| 具体的な実習内容 | <p>昨日の残りの到達度評価のフィードバックを行った。モニタリングの観点についてなにを行ったかという問いにすぐには答えられなかった。</p> <p>小児在宅の子の散剤調剤を行った。小児であることや全量が多いためミスするのが怖くて不安な点は全て聞いてから行ったが、最後円盤に撒く時にホッパーの選択を片方していなかったためミスしてしまった。カバーできるミスだったのでまだ良かったと思いたい。散剤を撒く時の順番が量や色によって考えるということを学んだ。今回はカルボシステイン、アンブロキシソール、ミヤBM細粒、フェロミアだったのでまとめてホッパーに入れたが、違う処方内容では分けて撒くということも学んだ。</p> <p>散剤の計算は比でやる方が計算ミスしない気がした。ミヤBMが処方箋では錠で撒くのは細粒だったので、有効成分の量を確認して、全量の計算をした。</p> <p>副作用やヒヤリハットの報告をする場所があることを学んだ。実際に副作用の報告をするという貴重な体験を見学した。</p> <p>止瀉薬の使い方について学んだ。感染性胃腸炎の場合は止瀉薬は使わない方が良いと思ったが、医師の処方にはリーダイがあったということで、調べた。OTCの物を比較してベルベリンやゲンノショウコとロートエクスに大きくわけられていることがわかった。</p> <p>リーダイは前者であり、ピタッと止めるわけで無いことを学んだ。ロートエクスの方は抗コリンをもつ成分のため、しっかり止められることを学んだ。</p> <p>服薬指導の見学は救急科からの処方でニトロペンが出ていた。病院をタライ回しにされたり、救急車呼ぶほどだったんですかねと色々思うことがあった。また、熱中症やコロナが多いため、自分のために救急車を呼ぶの躊躇ってしまう気持ちもわかるなと思った。</p> <p>服薬指導は言っていることが毎回違くてコンプライアンスが取れない患者さんだった。</p> <p>聞いたことに対しては答えていただけるとし日常についても話していたので1回きりではちゃんとした評価ができないなと感じた。事前に情報を聞いていたので疑問に思うことが出来たが、聞いて居なかったら難しいなと感じた。骨密度について先生なにか言っていましたかという問について別に。と答えていたのが気になった。</p> |
|----------|---|

日誌

日誌 07月29日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月29日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 服薬指導の際に患者さんの視点で生活をする上でどうしたら負担が減るか考えて みることやモニタリングを行う。 引き続き調剤の際には医療安全に気をつける。 |
| 添付資料 | 薬局実習報告書様式.docx |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | 薬局実習報告書様式 (コメント入り).docx |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|-----------------|
| 出欠状況 | 出席 36.2 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 薬歴記載 |
| | | 昨日の服薬指導のフィードバック |
| | 10:00 | 服薬指導 薬歴記載 |
| | | フィードバック |
| | 11:00 | 調剤 |
| | | 一包化 |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 今まで書いた薬歴の振り返り |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | 調剤 |
| | 15:00 | 会議 |
| | | 電話 |
| 16:00 | 日誌作成 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

昨日の最後に服薬指導した患者さんのフィードバックをした。一日の中で話が違っていたりして患者さん本人のことを信じきれない部分はあるが、今手元にある薬の確認はした方が良かったと思った。また、一包化するかしなないかは、薬の数が多いからという理由だけでなく、飲まなくてはいけない優先順位を考えてしなくても良いとすることもあることを学んだ。午後に電話で昨日処方されていたミノドロン酸を今朝飲む約束をしていたので、飲めたかの確認をした。1ヵ月後に飲む薬はカレンダーに貼ってあるらしく、飲み忘れなければ良いなと思った。服薬指導はロゼックスゲルと抗アレルギー薬が処方されており、ロゼックスゲルの方は引き続きだった。抗アレルギー薬は1日2回の服用であったが、1回ではダメなの?という質問をされた。その薬がどのような意図で入っていて、飲んだ方が良いのか、調整しても良いのか知っておく必要があると感じた。今回の薬は、事前に飲んでいたら症状を出にくくする働きと症状が出た時に素早く治まる働きがあることを学んだ。そして、今回は前者だったので2回飲んだ方が良いという結論であった。

患者さんが減薬したい(飲む回数を減らす、薬を半分にして飲むなど)という希望があった時に減らしてもいい、良くないの前にどうして?と聞き、自身がなぜ減らしたいのか言語化させると良いということを知った。

一包化は腎不全の患者さんのもので、エンレスト、フロセミド、トルバプタン、フェブキソスタット、アムロジピン、ダーブブロック、グリメピリド、ジアゼパムなどを拾った。

フェブキソスタットは0.5錠だったため、半割した。割線がなく、フィルムコーティング錠のため、割りずらく、いつもより錠剤がボロボロになってしまった気がした。

今まで服薬指導をして薬歴を書いた内容を比較した。5月の頃は内容が短く、薄い印象を受けた。最近のものは文量が全然違った。

精神科の医師をやっている患者さんがフルニトラゼパムなどといった安定剤を3剤かなりの錠数を持って行っており、精神科って大変なんだなと思った。

日誌

日誌 07月30日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月30日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | ビスホスホネート製剤の評価をどの時点で、どのような方法で骨密度を測るのかを調べる 頓服のような飲み方をして良い薬とそうでない薬の判別をできるようにする。また、それを患者さんに説明できるようにする。 患者さんの発した言葉の意図を汲み取ることを意識する。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|-----------|
| 出欠状況 | 出席 36.2 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 調剤 |
| | | 服薬指導 薬歴記載 |
| | 10:00 | 調剤 OTC |
| | | 服薬指導 薬歴記載 |
| | 11:00 | 調剤 |
| | | 服薬指導 薬歴記載 |
| | 12:00 | フィードバック |
| | | |
| | 13:00 | 休憩 |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | 調剤 |
| | | |
| 16:00 | | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | <p>1件目の服薬指導はジアゼパムが処方されている方だった。いつもはニトロペンも一緒に出ていた。ニトロペンで聞くことが残の確認、最近いつ使ったか、ニトロペンが効いたか、副作用がなかったなどを確認すると良いことを学んだ。また、ニトロペンの副作用は低血圧と頭痛ということも学んだ。</p> <p>2件目は糖尿病の患者さんで、4剤併用くらいだった。前回の血液検査よりもHbA1cが高くなっているのにリベルサスが削除でトラゼンタが入っていたり普通なら疑義照会をする場面だった。点数がだいぶ下がって薬が安くなったのでそれでではないかと教えてもらった。</p> <p>患者さんの立場で見ないとわからない事例だなと思った。やっぱりあんまり話していただけない患者さんは難しいなと感じた。</p> <p>3件目はエチゾラムを自分で調節している患者さんだった。処方箋は0.5mg1日2錠と記載されており、薬袋は0.25mg1回2錠だったので、混乱してしまった。肺がんか再発している患者さんで、健康診断も基準値より若干高いくらいで心配するほどでもないのに、気にせずに好きなものを食べて欲しいと思った。</p> <p>OTCはオロナインと目薬と下剤を買いに来たお客さんで、目薬は症状を聞いて一緒に選んだ。下剤は赤いの飲んでるけど効かないとおっしゃっていて、錠剤を見せてセンノシドであることを確認した。</p> <p>どうしたら良いかわからなかったのを、智弘さんにバトンタッチしていただいた。変にマグミットなど勧めなくてよかったと思った。</p> <p>脳梗塞の初期症状が答えられなかったのを調べたところ、痺れや麻痺、呂律が回らないなど祖母にもあったなと思った。</p> |
|----------|--|

日誌

日誌 07月31日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 07月31日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 面倒くさがりなところを見抜かれてしまっていたことですかね… 服薬指導でもOTC販売でも患者さんの質問にしっかり答えることができなくてまだまだ力不足だなと感じました。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 08月01日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | 欠席 36.1 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月01日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|

日誌

日誌 08月01日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月01日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 08月02日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | 欠席 36.5 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月02日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|

日誌

日誌 08月02日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月02日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 08月03日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | 欠席 35.9 良好 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 08月03日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|

日誌

日誌 08月03日

東邦大学

学籍番号(1021239)

氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 08月03日 東邦大学 学籍番号(1021239) 氏名(渡辺 新夏)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |